

道徳だより

令和5年 1月
七塚小学校
校長 宗廣 進一
1年生担当

今回は、1年生の授業の様子についてお伝えします。

主題名：しんせつにすること 教材名：「学校のかえりみち」

《ねらい》 困っている人を助けることは、相手にとってはもちろんありがたいことであるが、その喜びを感じる自分にも大きな喜びであることに気づき、身近にいる人に親切にしようとする心情を育てる。

《あらすじ》

学校の帰り道で、ゆうじとまことは車を動かさずに困っているおじいさんを見かけます。はじめは、「知らないおじいさんだから」とその場を通り過ぎようしますが、そこにおばさんが通りかかり邪魔になっている自転車を片付けます。それを見て、ゆうじとまことも自転車を片付けはじめ、おじいさんに「本当にありがとう。助かりました。」とお礼を言われる、というお話です。

児童の考え

教師の問いかけ

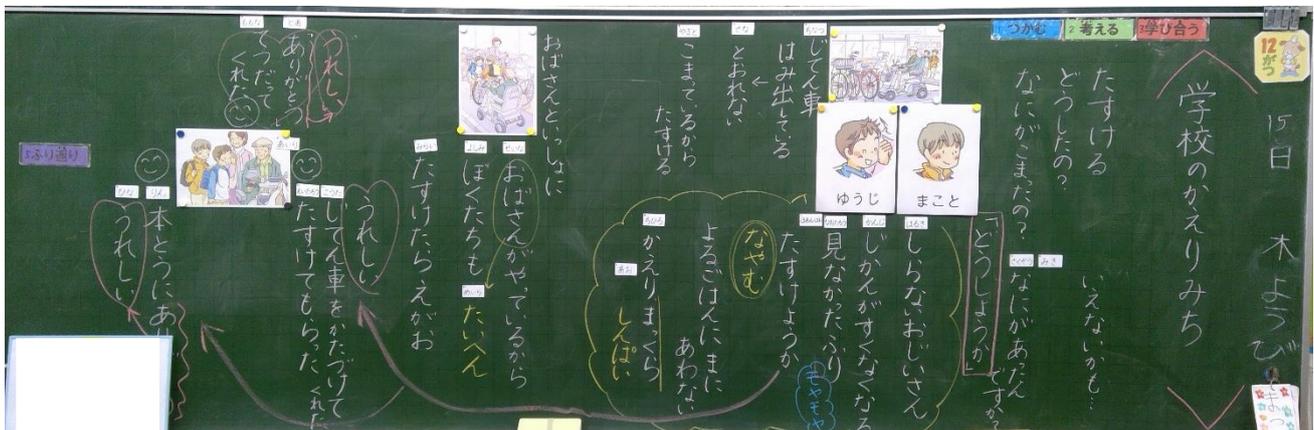


最後にみんなが笑顔なのはどうしてかな。

男の子たちが
手伝ってくれたから。



ありがとうと言ってもらえて
嬉しかったから。



児童のふり返りより

- もし、自分がそんなおじいさんを見かけたら助けてあげたいなと思いました。
- 私は知らない人が困っていたら「何があったんですか？」と声をかけたいなと思いました。
- 私もお母さんのお手伝いをした時に「ありがとう」と言ってもらえて嬉しい気持ちになりました。

子どもたちは考えを出し合う中で、自分が親切にされたときはもちろん嬉しいが、自分が親切にした時も温かい気持ちになるということに気付いていました。また、知らない人に声をかけるのは難しいな、でも声をかけられるようになりたいなと考えている児童もいました。自分も親切にした時に「ありがとう」と言われて嬉しいことがあったと、多くの児童が自分の生活をふり返っていました。